



つばさ

唐津市立北波多中学校

— 令和6年12月24日 —
第20号 文責 校長 渡辺 景輔

〒847-1201 唐津市北波多徳須恵 303
TEL 0955-64-2009

【学校教育目標】

「**自他を大切にし 互いを認め合い 共に高め合う生徒の育成**」

◇2学期終了しました◇

あっという間に2学期が終了し、明日から冬季休業に入ります。2学期は、特に9月の体育大会、10月の音楽祭では、子どもたちは様々なアイディアを出し主体的に活動できており、成長した姿を本当に嬉しく思います。冬季休業中も体調に気を付け、充実した休みと新年を迎えてほしいと思います。

3年生にとっては、進路実現に向けて大切な冬休みとなります。上手に息抜きもしながら自分自身が納得できる冬休みにしてほしいと願っています。

◇メッセージカードづくり！◇

12月18日（水）に、年末に北波多地区のご高齢の方々にお配りするメッセージカードを作成しました。日頃、地域の中で暮らし、多くの方々の支えによって過ごすことができることへの感謝の気持ちをもって、作成してくれました。作成にあたっては、タブレット端末等を駆使しながら丁寧に作ることができていました。



◇表彰関係・おめでとう！◇

〔 野 球 部 〕 唐津市長旗争奪中学軟式野球大会 準優勝

唐津地区中学校新人大会 準優勝

〔バレーボール部〕 唐津地区ドリームカップ中学生バレーボール大会 第3位

〔七夕書き方会〕

硬筆県入選

硬筆市入選

毛筆市入選

〔学童美術展〕

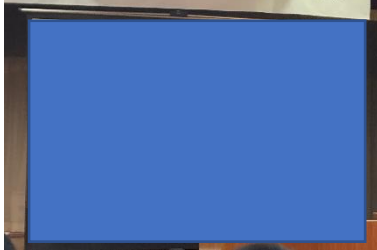


◇「北波多地区人権問題講演会」◇

今回は、さんの作文を紹介します。

12月4日（水） 北波多公民館にて

北波多地区人権問題講演会



「社会を明るくする運動」北波多中学校2年 中谷柚葵

私が、「社会を明るくする運動」について書こうと思った理由は最近テレビや SNS でよく目にする誹謗中傷（ひぼうちゅうしょう）で、苦しむ人がいるからです。

私は、誹謗中傷について調べてみると実際に誹謗中傷と思われる書き込みや投稿を見つけました。そこには心無い言葉がたくさん書かれていました。私はそのような言葉を見て、人の努力も知らないでよくそのようなひどい言葉を人にぶつけることができるなと思いました。私はもっと見る人が安心して見れる言葉を書いてほしいと思いました。誹謗中傷で苦しんでいる人は想像よりも多かったです。詳しく調べてみると、ネット上の誹謗中傷が原因で情報相談センターに寄せられた相談件数は2022年度は5,745件と、8年連続で5,000件を超えていました。この中でも亡くなった人はとても多かったです。誹謗中傷された人の多くは自殺するくらいまで追い込まれて苦しんでいます。誹謗中傷は犯罪になるか調べてみると、刑法230条に規定された犯罪だということがわかりました。しかし、どこからが誹謗中傷か刑法的に定めた明確な基準は存在していません。または、誹謗中傷をした加害者は被害者に対して賠償する責任を負うことになるそうです。ただ、責任を負っても一度傷ついた心は簡単には治らないと思います。だからこそ、誰かが傷つく前に社会全体が動かないと誹謗中傷はなくなならないと思いました。そのためには一人ひとりの意識からではないかと私は思います。もし自分の大切な人がそのような辛い状況にいたら、助けてあげたいと誰しもが思うことだと思います。だからこそ自分だけではなく、周りもしっかりと見れる人になろうと思いました。

外国の人から見ると日本はとてもいい国だといわれています。私は、ずっとそんな日本で居続けたいです。しかし、身近に誹謗中傷があると、誰かが苦しんでいたたり、傷ついていたたりする人が出てきます。

私たちの学校には、そのようなことを無くそうと生徒会の方が考えてくれた「人権宣言」があります。

誹謗中傷はネットで傷つけることだと言われていますが、直接言っても傷つくのは一緒だからその一部だと私は思っています。私は小さい頃から家族に「自分がしたことは必ず自分に返ってくる。」と教えられてきました。それは、良いことも悪いことも一緒だから、相手を大切にしなさい、という事だったそうです。だから私は、そのことを周りの人に伝えて家族に教えてもらったことが少しでも広がってほしいです。そして、苦しむ人や傷つく人が社会から少しでもいなくなると嬉しいです。

私は社会を明るくするためにできることを考えると、ひとりでたくさん明るく変えていくことは無理だと思うので、みんなで協力してよい社会づくりを目指したいと思いました。今はあまり良い日本とは言えないので、少しでも良くして、心の底からよい日本と言える日が来るように私も意識していきたいです。